

“Harry Potter’s World”

石橋光瑠



本学図書館のホームページには「本学図書館が作成したすべての主題別書誌データベース」というものがあります。皆さんの学習に役に立つ項目や、皆さんの興味・関心を引くための様々な項目があります。今回はその中の世界文学関連から「データベース Harry Potter’s World」について紹介したいと思います。

このカテゴリには『ハリー・ポッター』シリーズに関する蔵書が掲載されています。そもそも『ハリー・ポッター』シリーズはイギリスの作家J・K・ローリングによるファンタジー小説です。魔法使いの少年ハリー・ポッターが主人公で、ハリーの学園生活や、ハリーの両親を殺害したヴォルデモートとの戦いを描いた物語です。世界的ベストセラーで、公開された映画も大きなヒットを記録しました。シリーズは全7巻あり、1巻で1年が経過していきます。最近では、2014年7月に、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンで映画のセットを再現したテーマパークが開園しました。そして、今年には作家のJ・K・ローリングの生誕50周年に当たるので、それを記念して本学図書館ではデータベースを作成しました。

『ハリー・ポッター』シリーズは2008年時点で、67の言語に翻訳され、ラテン語や古代ギリシア語など日常では使われない言語にまで翻訳され

ています。本学の図書館では、14ヶ国語の作品を所蔵しています。日本語と英語はもちろん、外国語を専門とする大学だけに、各外国語学科の言語だけでなく、ロシア語・スウェーデン語・ポーランド語・韓国語も所蔵しています。

私は、『ハリー・ポッター』シリーズは映画では全シリーズ観たことはありますが、小説に関しては、第3巻の『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』までしか読んだことがありません。それで、私もこれをきっかけに全巻読んでみようかと考えています。小説も間違いなく、映画同様の迫力を味わえるに違いないはずです。

最後に、『ハリー・ポッター』シリーズは図書館本館の入口にあるゲートを通ってすぐの受付の奥に期間限定でコーナーを設けています。映画は観たけれども小説は読んだことがない方や、一度読んだことがある方にもぜひお勧めします。他の言語と日本語を読み比べながら学習するのもよいと思います。さらに、来年にはスピンオフストーリーが映画化もされるので、これを機に今までのものを総ざらいしてみるといいかもしれません。

いしばし ひかる（スペイン語学科1年次生）

